

# 桃三校内研究便り No.3

平成31年3月20日  
桃井第三小学校 研究部

## ＜研究主題＞ 「かしこい体 たくましい心」を育む指導法の工夫

3学期は研究主題をもとに、体育科の研究授業と ICT 機器を活用した総合的な学習の時間の授業を実施しました。それぞれの授業の様子をお知らせします。

1月31日（木）1年2組 体育科 表現リズム遊び 「ももジャングルクルーズ」

教諭 清閑寺 由子

リズム遊びを通して、子どもたちはロックやサンバのような軽快なリズムの音楽に乗って体を動かす楽しさを感じていました。また、準備運動に進化じゃんけんやだるまさんの一日などのゲーム要素を取り入れて、子どもたちの意欲を高めました。「アニマルタイム」を設け、いろいろな動物になりきって、全身で即興的に踊る活動を繰り返し行いました。また、「なかよしタイム」を設けることで、友達と動きを共有し、運動の幅を広げることができました。



2月22日（金）3年2組 総合的な学習の時間 「世界友達プロジェクト」

主任教諭 大波 史子

伝統的なおもちゃをテーマに、日本と世界のおもちゃの違いや作り方、遊び方を知り、知識を深めることができました。自分が調べるテーマについて授業支援アプリを活用し、字を書き加えたり、印を付けたり、動画を取り入れたりするなど、分かりやすい発表資料を作りました。また、友達と交流する際に、タブレット端末を使って自分が調べてまとめたものを発表することができました。子どもたち同士が自分たちの考えを共有するための一つのツールとして、効果的にタブレット端末を活用することができました。



## 研究のまとめ

今年度は研究主題のもと、6回の体育の研究授業を行った他にも、2回のICT機器を活用した授業を行ってきました。また、梅組も算数科の授業を行いました。今年1年の研究を終えて、以下のような成果と課題があがりました。

	成果	課題
体育	<p>主題に迫るために、以下の3点を手だてとして講じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 運動（遊び）との出会い</li> <li>② 主体的・対話的で深い学び</li> <li>③ 運動に意欲的でない児童、運動が苦手な児童への支援</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 楽しいスタート→児童に笑顔や意欲的な姿が見られた。</li> <li>② 意図的な時間の設定→次の活動の活性化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②教師が取り上げる動きや価値の精選。</li> <li>②運動中の言葉掛け。 (価値付けたものを一貫して称賛していく)</li> <li>③教師が一人一人をどのように把握し、みとっていくか。</li> </ul>
ICT	<p>&lt;主体的、対話的で深い学びの展開&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業支援ソフトを活用することで、児童の考えを様々な形で発表したり、交流したりできた。</li> </ul> <p>&lt;基本的な学習内容の習得&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別学習支援ソフトの活用により、全員に共通の課題だけではなく、学習の理解度や習熟度に応じた指導ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭のICT使用環境の違いにより、キーボード入力など、技能面での個人差がある。</li> <li>・4年生以下は、タブレットが1人1台環境ではないため、5、6年生との活用状況に差がある。</li> </ul>
梅組	<タブレット端末の活用について>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的教材の提示を行ったことで、言語だけでなく、目で見て理解を深めることができた。</li> <li>・梅組カフェでお客さんに注文をとる際、タブレット端末を効果的に活用することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的にタブレット端末を活用することが難しく、学習の最後にアプリをする場面が多かった。</li> <li>・1人1台あるメリットを生かす場面が少なかった。</li> </ul>

今年度の成果と課題を生かして、来年度も子どもたちのためにより質の高い研究を行っていきます。